

授業特別協力者(ゲストスピーカー)報告書

テーマ : レゴ(R)シリアスプレイ(R)で学ぶ「コンピテンシー」と「チーム力」
授業特別協力者名 : 鈴木 篤司 氏
実施日時 : 2024年5月16日(木) 5時限
担当教員名 : 斎藤 正武
授業科目名 : グローバル・プロフェッショナル・プログラム B2(グローバルキャリア/タイ)
履修者数 : 5名

実施結果

2024年5月16日に 5306 教室にて Lego シリアスプレイ研修を実施しました。インターンシップ科目である本授業における研修の目的は、チームビルディングと創造的な問題解決力の向上です。参加者はLEGO ブロックを使用し、ファシリテーターの指導のもと、自身のアイデアや考えを視覚的なモデルとして表現しました。

研修は、自己紹介を兼ねた簡単なモデル作成から始まりました。参加者は各自の職務や個人の特徴をLEGO ブロックで表現し、それを発表することで、お互いの理解を深めました。その後、ファシリテーターが提示した特定のビジネス課題に対して、各自が解決策を考え、それをモデルとして具現化しました。このプロセスを通じて、参加者は抽象的なアイデアを具体化する手法を学びました。

次に、各モデルの発表と共有が行われました。参加者は自身のモデルを説明し、他の参加者からのフィードバックを受けました。この段階では、異なる視点やアプローチが活発に交換され、新たな洞察が得られるとともに、チーム内のコミュニケーションが一層深まりました。また、モデルを通じた対話により、普段の業務では見落としがちな問題点や改善点が浮き彫りになりました。

研修の最後には、全員で共同モデルを作成し、チーム全体のビジョンや目標を具体化しました。この共同作業は、チームの一体感を高め、共通の目標に向かって協力し合う意識を醸成する良い機会となりました。

研修終了後に実施したアンケートでは、多くの参加者が「非常に有意義であった」と評価し、特に創造的な思考の促進とコミュニケーションの向上に貢献したと述べました。具体的には、「普段の会議では出てこないアイデアがたくさん出た」「チームメンバーの新たな一面を知ることができた」といったポジティブなコメントが多く寄せられました。

今回は、企業研修で行っているこのような研修を体験してもらうことによって、組織全体の連携強化と創造的な問題解決能力の向上を図りたいと考えています。また、このような研修を通じて、自分を口頭で表現する(言語化する)能力をつけて、インターンシップをするそれぞれの国の人と共に理解しあえるきっかけになればと思います。

